

新潟大学 創生学部 2024-2025

創生学部 創生学修課程



NIIGATA UNIVERSITY
COLLEGE OF
CREATIVE
STUDIES

学びを創り、
未来を生む

自らの未来を自らの意志で創りたい人、歓迎します





文理融合の学部だからこそ選択肢が多い
学際的な知識や技術、思考が身に付く
オールラウンドな学部

新潟大学創生学部とはどんな学部？

自分でやりたいことや好きなことを
発見し、とことん学べる学部

様々な分野や学年、考えをもつ人々と
協働しながら、課題解決に向けて
努力することが出来る学部

グループワークを
取り入れた講義もある

「学ぶ」のではなく、自主的に
「学び」を創っていく学部

THE HEART OF CREATIVE STUDIES

新潟大学創生学部とは？

新潟大学創生学部は「理系文系の区別がない学部」です。
学際的かつ多角的な学修を経てから、自身で専攻分野を選択します。自ら課題を発見し、その解決のために、様々な学問を専攻する学生と協働し、各自の専門知識を活かして解決方法を創造していきます。学生主体で創りあげていく分野横断的な学びのなかで、科学技術の革新を牽引し、複雑化する社会問題の解決が可能な人材としての力を身につけます。
学内外の様々な人々と交流しながら、自らの未来を自らの意志で創りたい人を募集します。

求める学生像

- 課題探究・解決に関心を持ち、将来のキャリアを自ら見つけることに熱意がある人
- 特定分野にとらわれない幅広い領域に興味関心を有し、基礎的な学力のある人
- 他者とのコミュニケーションを積極的にを行い、自己表現できる人



人と話したり
関わることが好きな人

学びたい分野が沢山あり、
どの学部にしようか迷っている人

創生学部はこういう学生にオススメです！

自主的に学ぶのが好きな人

社会問題に興味がある人



なぜ創生学部を選んだのか

グループワークが多いと聞き、苦手なコミュニケーションが克服できるのではないかと考えたから

教員との距離が近いから

文系か理系かに捉われずに、様々な分野を学ぶことができるから

様々な学問分野への理解を深めてから専攻を決めたかったから

複雑な社会問題を解決するためには、様々な専門知識や技術が必要なので

特にグループワークで必要な力を身につけることができる

創生学部で学べることは、

「データサイエンス」や一般教養から専門分野まで幅広く学べる

多面的な思考や学際的な課題解決方法が身に付く

グループワークを通じて課題発見力、問題解決力を身につけられる。これは創生学部ならでは！

グループワークが苦手な人でも大丈夫！

様々な学問分野に触れ、本当に自分が進みたい学問分野や目標を見つけることができた

創生学部に入って、良かったなと思うこと

いろんな分野の知識を得ることができること
知識の幅が広がり、多面的な思考が身についた

「フィールドスタディーズ」などで学外の人と関わりながら、学ぶことができた

他の学問分野の人と交流ができたこと

同学年の人数が少ないので、お互いの顔や名前を覚えて友達がたくさんできた

グループワークなどを通して、自分のやりたいことに対し、主体的に動けるようになった

Four Years

CAMPUS LIFE AT COLLEGE OF CREATIVE STUDIES

新潟大学創生学部での4年間

多様なキャンパスライフをご紹介します。

※これは2023年度の内容です。

●第2タームの時間割

	月	火	水	木	金
1		刑法I (刑法総論I)	外国語ベーシック (朝鮮語)		憲法III (憲法総論・ 人権総論)
2					
3	データサイエンス 実践B			データサイエンス 実践B	
4	リーガル・ システム			リーガル・ システム	
5		アルバイト ~21:00	アルバイト ~21:30		基礎ゼミIII

古寺 優花さん(新潟県出身)
法学領域学修科目パッケージ



2年

1 First Year 2 Second Year



寺田 裕樹さん(岡山県出身)
創生学修課程

1年



小松 桃果さん(山形県出身)
経営学領域学修科目パッケージ

2年

●第2タームの時間割

	月	火	水	木	金
1		フィールド スタディーズ	フィールド スタディーズ	フィールド スタディーズ	情報処理 データ分析
2	SDGs 入門演習				
3	数III自主 ゼミ				
4					
5					

競技ダンス
~21:00

●第3タームの時間割

	月	火	水	木	金
1	リテラシー 応用E		特殊講義 (法医学II)		
2					
3	マーケティング 論II	マーケティング 論II	リテラシー 応用C		
4		日本経済 入門		アルバイト 10:00~18:00	日本経済 入門
5		P.A.C.E. (Research Writing)			基礎ゼミIV
6		NPO論			

●第1タームの時間割

	月	火	水	木	金
1	森林保全学		資源動物 科学概論	森林保全学	
2	農地と水利用			農地と水利用	
3	野生植物 生態学			野生動物 生態学	
4					
5					

●第2タームの時間割

	月	火	水	木	金
1					
2	卒業研究 (昆虫の分類)	卒業研究 (昆虫採集)		卒業研究 (論文精読)	卒業研究 (昆虫の分類)
3					
4					
5	アルバイト 16:00~20:00			ソリューション ラボI	アルバイト 16:00~20:00

3年

石井 弥和さん(新潟県出身)
生物資源科学・流域環境学領域学修科目パッケージ



4年

山田 朝陽さん(静岡県出身)
生物資源科学・流域環境学領域学修科目パッケージ



3 Third Year

4 Fourth Year

3年

石綿 愛菜香さん(新潟県出身)
言語文化学領域学修科目パッケージ



4年

杉本 稜一郎さん(栃木県出身)
数学領域学修科目パッケージ



●第2タームの時間割

	月	火	水	木	金
1	リテラシー 応用B				
2			日本語文化 実習C	日本文学 概説B	英米 文化論A
3		日本語学 概説A	日本伝統 文芸論B	英米文化 概説A	
4				英米言語 概説A	
5		日本古典 文学論A			

●第1タームの時間割

	月	火	水	木	金
1					
2	代数系IA				複素解析学 IA
3		数理統計学 IA			
4					
5	合気道部 17:00~19:00	アルバイト 家庭教師 19:00~20:30	合気道部 17:00~19:00	茶道部 (石州流) 16:30~20:00	合気道部 18:30~20:00

躍動する学び

創生学部は、定められた一つの学問分野を軸に学んでいく従来の学部とは異なり、学生一人ひとりが自分で目標を設定し、課題や専門領域を選んで学んでいく、まったく新しい教育プログラムです。

「課題発見・課題解決能力」(リテラシー)の育成を重視したカリキュラム

1年次				
	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
導入・転換教育科目	スタディスキルズ (大学学習法) リフレクションデザインI リテラシー基礎 社会における種々の課題理解	フィールドスタディーズ (学外学修)P8参照	学外学修などを通じて学修する目的を意識し、自ら学修する態度・姿勢を養います。いずれも1年次に履修する必修科目です。	
	基礎ゼミⅠ・Ⅱ(1、2年生合同) 下記参照			
基礎科目	情報処理・データ分析 初修外国語		データサイエンス概説 下記参照 アカデミック英語入門R・L	国際理解リテラシー
リテラシーコア・ 課題解決実践科目	課題把握、分析解決などさまざまな能力を養うための科目、自分の強みを伸ばす英語の集中学習、データの扱いを学ぶ科目、プロジェクト参加型学修などで課題解決を実践的に行う科目が含まれています。			
専門分野の学修		リフレクションデザインII 領域学修科目群への導入	領域概説 領域(学部)と課題の理解	
自由選択科目	フィールドスタディーズコーディネート、 新潟大学が提供			

PICK UP 主な授業科目(視野を広げ、現代を学ぶ科目)

基礎ゼミ(1~2年次)



「基礎ゼミ」では、1年次生と2年次生がグループを組み、課題把握等の演習を行います。ゼミでは、取り上げる課題の設定や、アプローチする方法も、自分たちで考えます。周りの人と積極的にコミュニケーションをとりながら、課題解決の流れを実践的に学んでいきます。

データサイエンス(1~2年次)



「データサイエンス」では、自然や社会の共通言語であるデータの扱いや処理・分析の理論を、統計学の基礎から実践的に学びます。また、各分野でのデータ活用や、倫理面など具体的な事例を通して学ぶことで、多様な観点で社会課題をとらえる情報リテラシーを高めます。

P.A.C.E. (Program for Academic and Communicative English) (2年次)



「P.A.C.E.」は、特に海外での活躍を希望する学生向けのネイティブ教員による英語の授業です。グローバル人材を育成するための実践英語教育プログラムとして開設されており、少人数での授業を通して「使える英語」の獲得を目指します。英語によるプレゼンテーションスキルや論文の書き方など実践的な英語を学ぶことができます。

PICK UP 教員一覧

教員名	専門分野	教員名	専門分野
熊野 英和	電子デバイス・量子物理・情報通信学	高橋 宏司	認知生態学・動物心理学・水産心理学
向山 恭一	政治学	小山 翔子	宇宙物理学・天文学
佐藤 靖	科学技術史・科学技術政策	砂野 唯	食文化・地域研究学
渡邊 洋子	成人教育学・生涯学習論・社会教育学	水上 拓哉	AI倫理・ロボット倫理学
田中 一裕	教育学・教育工学	大竹 憲邦	植物栄養学・土壌肥科学
内田 健	社会学	木南 直之	社会学・労使関係法・労働時間法
小路 晋作	生態学	寺口 昌宏	機能性高分子・高分子分離膜・共役高分子
澤邊 潤	教育工学・教育心理学	中村 隆志	情報メディア論・コミュニケーション論
並川 努	心理学	藤巻 一男	公法学
堀籠 崇	経営学	三浦 智明	物理化学・機能物性化学

令和6年4月1日現在

第1ターム(4月～6月)、第2ターム(6月～8月)、第3ターム(10月～11月)、第4ターム(12月～2月)

2年次				3年次				4年次			
●グローバルに活躍するための語学力を修得する ●課題を分析するためのデータ処理の方法を学ぶ				●自ら選択した専門領域を深める ●課題を把握し分析する技術を身につける				●課題解決のための実践力を強化する			
第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
初修外国語				リテラシーコア・課題解決実践科目や領域学修科目を学ぶ上で必要となる基礎を身につけるための科目です。							
データサイエンス実践またはP.A.C.E. P6参照				リテラシー応用 課題の発見把握を中心としたPBL(課題解決型学習)				リフレクションデザインⅣ 学修の総括と学位申請準備			
基礎ゼミⅢ・Ⅳ(1、2年生合同) P6参照				プロジェクトゼミⅠ・Ⅱ P9参照				ソリューションラボⅠ・Ⅱ(卒業研究相当) P9参照			
領域学修科目 選択した領域学修科目パッケージから、40単位(20科目程度)以上を履修・専門領域の学修 下記参照								リフレクションデザインⅢ 領域学修と社会的課題との関係整理			
地域・国際交流A、地域・国際交流B、データサイエンス概説演習											
する多様な科目											

PICK UP 領域学修科目パッケージ

「21の領域学修科目パッケージ」から自分にあった専門分野を選択

創生学部では、2年次になると、新潟大学の理・工・農・人文・法・経済科学の各学部が提供する「領域学修科目パッケージ(専門授業科目群)」の中から、自分の興味関心に合わせて専門領域の一つを選択し、課題解決に向けて軸となる専門性を修得します。

「領域学修科目パッケージ」内の授業は、当該パッケージを提供している学部で開講されているものです。そのため、たとえば工学部のパッケージを選択した場合は、工学部の学生と一緒に専門的な内容を学修していくことになります。

各パッケージの概要や科目などについては、創生学部ホームページに掲載している【領域学修科目パッケージ案内】を参照してください。

「領域学修科目パッケージ一覧」

理学部: 数学、物理学、化学、生物学、地質科学、自然環境科学

工学部: 機械システム工学、社会基盤工学、電子情報通信、知能情報システム、化学システム工学、材料科学、建築学

農学部: 生物資源科学、流域環境学、応用生命科学、食品科学

人文学部: 社会文化学、言語文化学、心理・人間・メディア表現文化学

法学部: 法学

経済科学部: 経済学、経営学

創生学部ホームページ / 授業科目 / 領域学修科目パッケージ
<https://create.niigata-u.ac.jp/subject/package/>



FIELD-BASED STUDIES フィールドスタディーズ(学外学修)とは？

学生が企業や自治体など、学外のフィールドに赴き、グループで活動を行う授業です。グループごとに現場の方々のサポートを得ながら課題を発見し、学生主体の企画や提案を行います。一連のプロセスによって、社会の課題を体感し、大学での学修意識の転換を図ります。授業は学外で行う4週間のフィールドワークのほか、学内で行う事前・事後学修によって構成されています。

授業の流れ

事前学修 (2週間)

大学内で全体レクチャーや、フィールドの事前調査、グループの目的設定などを行います。

1 週目



2 週目

学外学修 (4週間)

それぞれのフィールドで活動します。現場の課題の解決を目指して、グループ単位で活動を行います。

3 週目



4 週目

5 週目



6 週目

事後学修 (2週間)

大学内で、フィールドでの成果を発表します。

7 週目



8 週目

受け入れ機関一覧 (2023年度)

- 燕市 ● 株式会社 当間高原リゾート ● 株式会社 コメリ ● 株式会社 たかだ ● 株式会社 ツインバード ● ヤマト運輸 株式会社
- 公益財団法人 新潟県女性財団 ● 新潟県立自然科学館 ● 新潟県労働金庫 ● 新潟市 ● 一般社団法人 農村振興センターみつけ
- 宮内摂田屋method

プロジェクトゼミ・ソリューションラボ

プロジェクトゼミは3年次、ソリューションラボは4年次に履修します。2年間かけ、教員の指導のもと、自分と異なる分野を専門とする学生とも議論し、課題解決プロジェクトを遂行する、他の学部卒業研究・卒業論文に相当する授業です。一つの課題に取り組み、成果をまとめる経験を通して、課題解決に必要な企画力や実践力などを身につけます。

学生の研究テーマ例(2023年度卒業生)

- ブロックチェーンの拡張性向上と機能改善に向けたプロトタイプ開発
- プロンプトエンジニアリングを用いた出力形式の違いによる回答の一貫性の比較
- 農地利用様式の違いに対するクモ群集の反応 ～見附市の水田景観に対する検討～
- 水田周辺の植生分布が斑点米カメムシ発生量に及ぼす影響 ～適切な空間スケールの検討～
- 日本のICT教育における反転授業の検討 ～経済産業省の「未来の教室」プロジェクトの批判的検討を基に～
- 大学スポーツに求められるデュアルキャリア支援の考察 ～Jリーガーのセカンドキャリア問題の経緯を踏まえて～
- 政府の農業担い手政策の今後の方向性 ～大規模経営体の現状を踏まえて～
- 在タイ日系企業のグローバル展開に向けた言語戦略の検討 ～現地社員の言語環境と課題に注目して～
- アレルギー対応食品のインターネット通販に求められるサービス
- 学生主体の地域連携プロジェクトの実践 ～「セッタニア」の持続可能性に焦点を当てたアクションリサーチ～
- バラエティラジオ番組の構造分析 ～メールによる双方向コミュニケーションに着目して～
- 世代間交流の促進にむけたEsportsの可能性とその課題 ～富山県庁の事例「高齢者Esports体験会」のヒアリング調査から～
- 日本企業のグミ製品に対する台湾人大学生の嗜好調査
- コンテンツツーリズムによる地域活性化を促進させるには ～新潟県三条市における事例分析～
- 音楽聴取時における“声”の有無がもたらす感情変化への影響
- 小学校教育におけるマンガの活用と応用について
- 第三セクター鉄道の存続・発展に向けた観光列車戦略の実践的検討-えちごトキめき鉄道を事例として
- 「学ぶ楽しさ」を伝える場としての民家園の可能性 ～「リトルワールド」 「明治村」での実地調査を通して

ゼミ・ラボ紹介

▶ 渡邊ゼミ・ラボ

「人と人」「人とモノ」の出会い／
関わり方を、実践的に探究する

本ラボでは、生涯教育学を基盤として、社会の様々な領域や場面で「人が生きる・出会う・関わる・学ぶ・学び合う」営みや活動に注目し、多様な方法でアプローチします。ラボ生一人ひとりの問題意識や研究テーマを全員で共有し、対面やオンラインでの発表や議論を行い、「人やモノと出会う」ことを実際に学ぶフィールド調査、映画やドラマを題材としたディスカッションなども行っています。



▶ 佐藤ゼミ・ラボ

公共政策と科学技術の観点から
社会課題にアプローチする

自分に関心をもった社会課題を考える際、その課題だけにフォーカスするのではなく、広い視野をもつことが重要です。当ラボではこのような立場から、公共政策の動向や科学技術の進展状況を踏まえながら、相互の意見交換を通じて幅広い課題の探求を進めています。



▶ 並川ゼミ・ラボ

「測定」を通して「人・社会」
について考える

自分で設定したテーマ・課題に対して、アンケート調査やインタビュー調査、フィールドワーク、実験等を行い、データを集める経験を積んでいくことを目指します。適切なデータをどうやって集めるかは、科学的な研究を行う際の重要な基礎の一つです。対象をどう定めて、どう測るのかを考え、自分で実際に研究を計画・実施してみることを通じて「人」や「社会」にかかわる課題にアプローチしていきます。



卒業生に 聞いてみました



菊地 友希乃さん(福島県出身)

心理・人間・メディア表現文化学
領域学修科目パッケージ

就職先 /
一般社団法人あすびと福島

創生学部への入学のきっかけは？

高校生の時に、福島県で起きた原発事故とそれに伴う風評被害について学び、これからの福島には「難しく感じてしまうことをわかりやすく伝える、通訳のような役割」を果たせる人材が必要だと感じました。理系も文系もどちらの知識も抵抗なく受け取り、理解できる下地を作るため、文理問わず様々な専攻を持つ学生・先生方と日常的に接することができる創生学部の魅力を感じました。

入学後、力を入れたことは？

「伝える」ことに強い関心があり、オープンキャンパスの実行委員会に力を入れました。創生学部は何にでも挑戦しやすい面白い学部だと感じていたので、その雰囲気は伝わるよう、学生主体のオープンキャンパスの運営に熱中しました。卒業論文では創生学部のオープンキャンパスを題材に、より良い在り方を検討しました。

今後の夢は？

福島県を面白い場所だと多くの方に感じていただき、足を運んでいただきたいです。福島県も創生学部同様「何にでも挑戦しやすい面白い環境」です。まだ、県外に伝わっていない魅力を伝えていきたいです。



伊藤 夏乃さん(山形県出身)

法学領域学修科目パッケージ

就職先 / 山形県庁

創生学部の学びが職場でどう活かしている？

創生学部の4年間で「知らないこと」に向き合えるようになったと感じています。県庁での業務は「初めて」の連続で、0から知識をつけることも少なくありません。1年生の頃からとにかく多くの分野に触れ、学び、実践や研究をしてきた経験があるからこそ、知らない分野や業務に苦手意識を持つことなく前向きに取り組み、理解を深められていると思います。また、領域の異なる学生と活発に意見を交わしたゼミやラボでの経験は、県民の方へわかりやすく伝えることへの基盤になったと感じます。

創生学部を目指す高校生の皆さんへ

創生学部は、いわば各学部生をぎゅっと一つに集めたような学部で、私にとっては新鮮でとても面白い4年間でした。今、まだ将来の選択を絞ることに不安がある人、とにかく色々なことがしたい人、面白い人に出会いたい人の選択肢の一つになると思います。ぜひ創生学部で学ぶ日々を目指して頑張ってください。

過去3年間の主な進路先

1 公務員・公共法人等

- 関東信越国税局
- 富山県庁
- 会津若松市
- 関東農政局
- 長野県庁
- 酒田市
- 国土交通省
北陸地方整備局
- 新潟県庁
- 塩尻市
- 秋田市
- にかほ市
- 宇都宮市
- 氷見市
- 東京国税局
- 国立大学法人等職員
- 東北農政局
- 新潟県警察
- 新潟検疫所
- 新潟県農業協同組合中央会
- 新潟労働局
- 新潟みらい農業協同組合
- 農林水産省統計部
- 群馬県庁

2 サービス業 (医療・教育・観光・複合等)

- JR東日本新潟シクリエイト(株)
- (株)日本経営
- (株)マイナビ

※就職先名については、採用当時の表記としています。

3 運輸・情報通信・マスコミ等

- 新潟運輸(株)
- 東日本旅客鉄道(株)
- NTTアドバンステクノロジー(株)
- (株)NTT東日本関信越
- (株)ソリマチ技研
- (株)日立システムズ
パワーサービス
- (株)日立製作所
- 富士通Japan(株)
- 富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン(株)
- (株)Works Human
Intelligence
- (株)TBSグロウディア
- (株)新潟日报社

4 金融・保険等

- 塩沢信用組合
- 新潟県信用組合
- 新潟県労働金庫
- 明治安田生命(相)

5 製造・建設等

- 小松ウオール工業(株)
- 三機工業(株)
- マツダ(株)
- 新発田建設(株)
- 清水建設(株)
- (株)福田組
- (株)本間組
- 北陸ガス(株)

6 卸売・小売等

- アークランドサカモト(株)
- (株)アデランス
- (株)コメリ
- (株)星光堂薬局
- 東北アルフレッサ(株)
- 東洋水産(株)
- (株)新潟ケンベイ
- (株)新潟三越伊勢丹
- (株)ニトリ
- (株)ヨークベニマル
- マツモト産業(株)
- (株)ワールドインテック



久湊 さくらさん(富山県出身)

応用生命科学・食品科学
領域学修科目パッケージ

就職先/
日本食研ホールディングス株式会社

創生学部の学びをどう活かしていくのか?

私は、応用生命科学・食品科学領域学修科目パッケージを選択し、食品の構成成分や衛生管理、植物の細胞や組織培養について学びました。食品に関する知識だけでなくゼミで身に着けた課題解決能力を活かし、取引先のそれぞれの要望に合った商品を提案して、取引先のお店の課題解決に少しでも貢献したいと考えています。

創生学部を目指す高校生の皆さんへ

創生学部では異なる分野を学んでいる人と1つの課題に取り組むことで多角的な視点から物事を捉える力が身につきます。私自身、周囲の友達や先生方にも恵まれて毎日楽しく、創生学部に入って良かったと感じています。楽しい大学生活が待っているので受験勉強、頑張ってください!

長谷川 太一さん(新潟県出身)

言語文化学
領域学修科目パッケージ

就職先/株式会社日本経営

創生学部の学びが職場でどう活かしている?

創生学部では、課題を解決する際に様々な視点からアプローチすることを学びました。私の仕事は顧客の経営課題を解決することです。経営課題は千差万別で課題解決に画一したフォーマットはありません。日々顧客への価値最大化のために、多くの先輩方の考え方に触れ、常に新しい情報を吸収しています。

創生学部を目指す高校生の皆さんへ

私は高校生の時、大学で学びたいことが決まっていませんでした。創生学部では学ぶ世界を広く提供してくれます。創生学部で学んだことが今の職業に就いたきっかけです。創生学部で好奇心旺盛な仲間と充実した時間を過ごして欲しいです。



内田 周作さん(新潟県出身)

経営学領域学修科目パッケージ

就職先/新潟県労働金庫

創生学部の学びが職場でどう活かしている?

複雑な金融商品やサービスを噛み砕いてお客様に説明する時に、創生学部での学びが活かしていると感じます。創生学部では4年間を通し、複数人で一つの課題に挑んだり、互いに意見交換したりする機会が豊富にあります。そうした経験の中で、自分の意見を簡潔にわかりやすく説明する力が鍛えられたのだと思います。

創生学部を目指す高校生の皆さんへ

創生学部は自由度が高く、気持ちの赴くままに楽しく学修を進めることができます。またそれだけでなく、コミュニケーション能力やデータサイエンス、多面的思考力など広く社会で必要とされる力も同時に培うことができます。卒業後の将来を見据えながら課題を探求したい方、学びたい分野が決まきれていない方にはぴったりだと思います。

親身になって相談に乗ってくれる先生も沢山いるので、ぜひ大きな期待を持って創生学部にチャレンジして欲しいです。

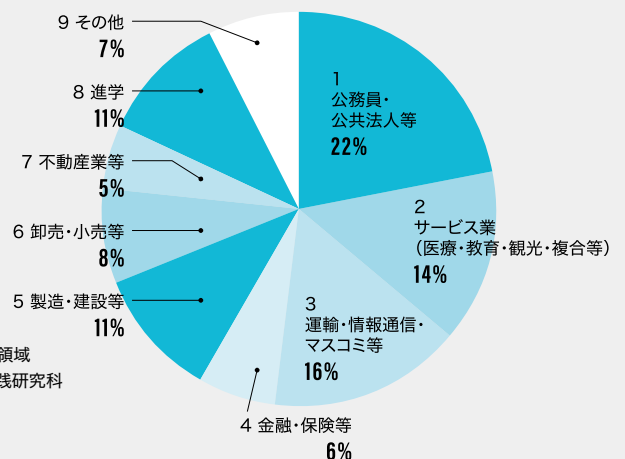
7 不動産業等

- アイエックス・ナレッジ株
- 大東建託パートナーズ株
- プロパティエージェント株

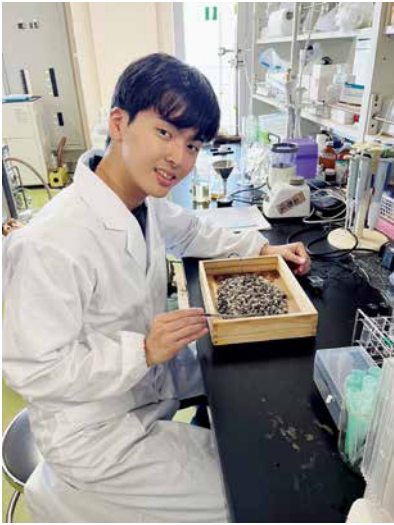
8 進学

- 新潟大学大学院自然科学研究科電気情報工学専攻
- 新潟大学大学院自然科学研究科環境科学専攻
- 新潟大学大学院自然科学研究科材料生産システム専攻
- 新潟大学大学院自然科学研究科生命・食料科学専攻
- 新潟大学大学院歯学総合研究科医科学専攻
- 新潟大学大学院現代社会文化研究科現代文化専攻
- 北海道大学大学院工学院環境創生工学専攻
- 北海道大学大学院文学院人間科学専攻
- 東北大学大学院生命科学研究科生態発生適応科学専攻
- 筑波大学理工情報生命学術院システム情報工学研究群
- 東京大学大学院新領域創成科学研究科
- 一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科
- 長岡技術科学大学大学院工学研究科工学専攻
- 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科情報科学領域
- 国際教養大学専門職大学院グローバルコミュニケーション実践研究科
- 中央大学法科大学院法学既修者(2年コース)
- 広島大学大学院人間社会科学部教育科学研究科教育科学専攻

過去3年間の進路状況



大学院進学者の声



新潟大学大学院自然科学研究科

加藤 樹さん(応用生命科学・食品科学領域学修科目パッケージ)

創生学部で学んだことが、大学院でどのように活かしているのか。

創生学部で学んだ、一つの課題に対して多角的な視野を持つという意識が大学院での研究に活かしています。私は現在食品化学の研究を行っていますが、化学的な研究では結果を出すだけでなく、得られた結果からどのようなことが考えられるか、今後の研究にどう活かせるかなど、視野を広く持ち多角的に見る意識を持つことで、研究をより深いものにすることができています。

また、数年後のビジョンを明確にする学修も役立っています。大学院では、自身の研究と授業、就職活動などを両立しなければならないため、スケジュール管理が大切です。どこまで研究を進めるか、どのような企業に就職したいかなど、将来を見据えて計画を立てることで充実した大学院生活を送ることができています。

創生学部を目指す高校生へのメッセージ

興味のある学問を自由に学ぶことができることが、創生学部の魅力だと感じています。文理問わず、自分の関心のある分野に進むことができます。私も元は文系でしたが、食品に興味があったため、農学部系を専攻し大学院まで進学することができました。

そして、学部全体として学生個人に手厚い対応をしてください。私がお学部の大学院に進学を希望した際にも、教員の方々は親身に相談に乗ってくださり、進学先の学部と連携して私の希望を通していただきました。その他にも魅力は多くありますので、是非創生学部で有意義な大学生活を送っていただければと思います。

北海道大学大学院文学院人間科学専攻

尾辻 朋音さん(生物資源科学・流域環境学領域学修科目パッケージ)

創生学部で学んだことが、大学院でどのように活かしているのか。

私は現在、「動物園における人々の学び」をテーマに研究を行っています。本テーマでは、動物に関する理系の知識はもちろん、人の心理や教育に関する文系の知識も必要とされるため、分野を横断した学びを学部時代から培ったことは大きな自信につながりました。また、大学院では物事に対して自分なりの考えを持ち、その考えを深め続ける力が求められます。創生学部では常に課題意識を持ちながら学修に臨む講義が多かったため、あまり大きなギャップを感じることなく大学院での研究を開始することができました。

創生学部で得た学びが現在の自分を支える基盤になっていると感じています。

創生学部を目指す高校生へのメッセージ

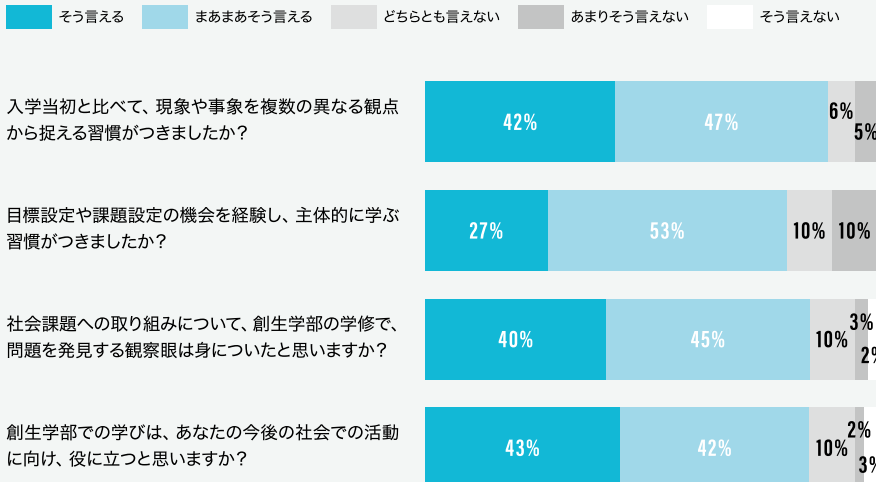
みなさんは今、どんな思いでこのメッセージを読んでいるでしょうか。文理の枠組みに戸惑い、大学で何を学びたいのか悩んでいる方も多いのかもしれませんが。私自身も高校2年生では理系を選択し、3年生で文転、学部では農学を専攻して現在に至っています。

全ての学問は互に関わりあっているため、一定の枠に捉えきることはできません。だからこそ、自分が学びたいことは自分の手で組み立ててほしいのです。

みなさんの大学生活が実り溢れるものとなることをお祈りしております。その実りの土壌として、多様な学問が集う創生学部を選択していただければ、卒業生として大変嬉しく思います。



卒業生アンケート



卒業生から後輩へのメッセージ・アドバイス

- 創生学部は自身の取り組みたい課題に取り組むことができる自由な学部です。そのため科目選択の自由度や学部内でも様々な専攻の学生と意見交換する機会があるところが良いところだと思います。
- 創生学部は自分でキャリアを形成していく学部なので、道が見えないと学修の目的がわからなくなることがあります。やりたいことを明確に、そして計画的に学修を進めていくと、学年が上がったときに苦勞せずに済みます。
- 社会課題の解決という大きな枠にとらわれることなく、身近な疑問も大事にしながら大学生活を送ってほしい。
- この学部は比較的多くの分野の先生と関われると思うので、その時々興味や様々な分野の先生と話ができる機会を大事にして、大学生活を充実させて欲しいと思います。

Q&A

創生学部をもっと知ろう

Q 創生学部では何を学び、 どんな力が身につきますか？

創生学部では、一つの学問分野にとらわれず、学生が自ら定めた目標に従って主体的に学びます。変革が激しく、前例が通用しない時代を生き抜くためには、学問の枠はもちろん、文理の枠をも越えて多様な分野に通じ、どんな環境変化にも怯まず、活きた知と柔軟な論理的思考を武器に社会の課題に立ち向かえる、真の力が必要です。創生学部では、基軸となる専門性に加え、こうしたこれからの社会を生きるうえで欠かせない能力を、データサイエンス、プロジェクトゼミ、ソリューションラボ、また1年次から独自に実施するフィールドスタディーズ（学外学修）等の多彩なプログラムを通じて修得します。

Q 入学時には、何か取り組みたい課題やテーマが 決まっていなくていいのでしょうか？

特に決まっている必要はありません。ただし、受け身で与えられた課題をこなせばよいという意識ではなく、いろいろなことに関心を持ち、自分から積極的に動いて学んで行くという意識を持っていただくと良いと思います。入学時にまだ明確に決まっていなくても、さまざまな課題やテーマに触れることができるような授業を1年次から履修しますので、その中で自分が取り組む課題などを見つけていくことになります。

Q 一般選抜（前期日程）の理系型・文系型は、 それぞれ定員が別に決まっているのでしょうか？

一般選抜（前期日程）では、理系・文系で定員を分けてはいません。合計得点等をもとに選抜しますので、得意な方の型を選択して受験してください。なお、個別学力検査の問題内容は、理系型でも文系型でも同一です。また、入試の理系型・文系型によって、入学後の学修が縛られることはありません。理系型の入試で入学し、文系の領域を専門とすることもできますし、その逆も可能です。もちろん、専門的な学修を進めるうえで、高校までの内容で不足しているものがあれば、入学後に補習やリメディアルの授業等を履修して学んで行く必要があります。必要に応じて教職員もサポートしていきます。

Q 文転・理転は可能でしょうか？

入学後にご自身が定める「課題」に取り組む上での必要性の問題です。（特に理転の場合）高い学修意欲と努力が求められますが、その覚悟があれば十分に可能です。大学では同じ科目を1年生と4年生が履修する場合があります。長い人生、高校での履修履歴で将来のキャリアが左右されるのは理不尽というものですので、入学後にしっかり再デザインして下さい。卒業生には文系で入学後、理系の大学院へ進学した例も複数あります。

Q 教員免許や資格の取得は可能でしょうか？

創生学部は教員免許の課程認定を受けておりません。教員免許を取得することが主目的の場合には、課程認定を受けている学科などを目指していただいた方が近道だと思います。また資格の取得についてですが、創生学部は通常の学部と異なり学生自身が4年間の学修目標を定めて自由度の高い学びを進める形です。逆に言えば学修内容が固定されていないことから、この学部の卒業により取得できる資格等は設定されておりません。もちろん、個人で受験可能な資格等については取得可能です。

Q 創生学部で学べる専門領域には、どのような 種類があるのでしょうか。また、どの領域を 専門にするかはいつ決まるのでしょうか。 希望通りに選択できるのでしょうか？

課題に取り組む上でも他者と協働する上でも、自分の強みとなる「軸」をしっかり持つことは不可欠です。その専門軸を確立するため、2年生になるときに21の領域学修科目パッケージの中から1つを選択することになります。この21の中には、新潟大学の理学部・工学部・農学部・人文学部・法学部・経済科学部の6学部で学べる領域が一通り含まれています。

どの領域を選ぶかは、原則的に学生の希望に沿った形で決定されます。極端に人数の偏りがある場合に限り、個別面談や1年次の成績等をもとに調整を行う場合もあります。万が一、希望通りにならなかった場合でも当初希望していた領域の学修が全くできないわけではありません。関心がある授業等については、自分の専門領域に縛られずに積極的に履修していただきたいと思えます。

Q 領域学修科目パッケージの選択後は、 それぞれのパッケージを提供する学部へ 移行するということですか？

いいえ、そうではありません。卒業まで、あくまでも創生学部の所属となります。3年次のゼミ、4年次のラボ（卒業研究）には、異なる領域パッケージを選択し、異なる分野の知識やスキルを学んだ学生が集って学ぶことが日常的に行われます。そうした環境で学ぶことで、狭い専門分野に閉じこもることなく、普段から自分とは異なる見方、考え方に触れ、様々な角度から議論や意見を交換することで、自然と視野を拡げていくことができます。

Q 広く学ぶということは、逆に学びの深さは 他学部学生に比べて劣るのでしょうか？

いいえ、決してそのようなことはありません。目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢があれば、自ずと知識は深まっていきます。特に課題解決型学修を通じ、自分事として実践を伴って得られる知は定着しやすく、後々組み換えて活用できる生きた知となります。他にも論理的に考える力、データの取り扱い、資料調査能力、問題への柔軟な思考やアプローチ、協働力、コミュニケーション力、プレゼン力、困難に直面した際の姿勢など、社会で活躍するために必要な基礎力全般が身に付きますし、これらは狭い専門性を超え、これからの時代を生きる上で必要な、幅広くしなやかな専門性の獲得に向けて強力な武器となります。また、卒業後にさらに深く研究を進めたい場合には、新潟大学もしくは他大学への大学院進学も十分可能な専門知識を修得できます。

Q 卒業研究のテーマ選びは、 創生学部にも所属する教員の研究内容に 制限されるのでしょうか？

いいえ。3年次のプロジェクトゼミ、4年次のソリューションラボ（卒業研究）のテーマは、あくまで学生が自身の興味関心に沿って設定します。教員はサポート役で、学問体系全体を俯瞰した方向づけや論理的な思考法、データ・研究資料等の扱い等、教員個々の専門性を背景とした「研究の進め方」についての指導を行います。

より専門的な知識を必要とする場合は、理、工、農、人文、法、経済科学各学部と創生学部のパイプ役を果たす領域担当教員を通じ、他学部の教員の助言や指導を仰ぐケースもあります。

Q 新潟大学で導入されている 全学分野横断創生プログラム（NICEプログラム） との違いは何ですか？

創生学部以外の他学部の場合、マイナーで何を学ぶかは選ぶことができますが、メジャーは入学時点で決まっています。主として学ぶ内容については、入学した学部の履修規程に沿って与えられていくことになり、その空いた時間に聴講可能なマイナー科目が開講されていれば、選択可能になる仕組みです。

一方、創生学部では、学ぶ内容自体を自分でデザインする点が大きな違いです。自ら設定する課題にアプローチする際に軸となる、メジャーに相当する領域学修科目パッケージを入学後に選択することになります。この軸に自由選択科目等を組み合わせ、学生個々に興味関心に沿ったオリジナルなカリキュラムを組むことができます。また、設定した課題に対し、既存の学問分野にとらわれることなく、必要な知やスキルを目的意識として強く持って修得しながら、自分事として探究や解決に取り組むプロセスを学ぶことそのものが、創生学部におけるメジャーである、ということもできます。

入試情報

創生学部では、一般選抜(前期日程)及び総合型選抜を実施します。なお、入試にかかる最新情報は、新潟大学ホームページにてお知らせしております。変更等が生じることもありますので、適宜ご確認ください。
 新潟大学ホームページ 学部入試のページ
<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/>



学部	課程	入学定員	募集人員		
			一般選抜	総合型選抜	
				前期日程	理系科目選択型 (概ねの募集人員)
創生学部	創生学修課程	65人	45人	10人	10人

▶ 令和7年度一般選抜(前期日程)

区分	大学入学共通テスト利用教科・科目		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
理系型	国 数 理 外 地歴・公民 (※1) 情	国語 必須 「数I、数A」 必須 「数II、数B、数C」 必須 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「地総、歴総、公」、「公、倫」、「公、政・経」から1 情報I 必須 (6教科8科目)	国 数 外	現代の国語・論理国語 数I・数II・数A・数B・数C 英(英語コミュニケーションI～III・ 論理・表現I～III)	共通 テスト	100	100		200	200	150	100	850
					個別 学力 検査	(200)			(200)		(200)		400
					計	100 (200)	100		200 (200)	200	150 (200)	100	1250
文系型	国 数 理 外 地歴 地歴・公民 (※1※2) 情	国語 必須 「数I」、「数I、数A」 から1 「数II、数B、数C」 必須 「物基、化基、生基、地基」から2又は 「物、化、生、地学」から1 英、独、仏、中、韓から1 ①「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」から1 ②「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「地総、歴総、公」、「公、倫」、「公、政・経」から1 情報I 必須 (6教科8科目もしくは9科目)又は (7教科8科目もしくは9科目)	国 数 外	現代の国語・論理国語 数I・数II・数A・数B・数C 英(英語コミュニケーションI～III・ 論理・表現I～III)	共通 テスト	200	200		100	100	150	100	850
					個別 学力 検査	(200)			(200)		(200)		400
					計	200 (200)	200		100 (200)	100	150 (200)	100	1250

※1・「地理総合、歴史総合、公共」を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」、「公共」)のうち、2つを選択解答すること。
 ※2・②の選択は、①で選択した科目以外から行うこと。
 ・②で「地理総合、歴史総合、公共」を選択する者は、①で選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできない。

▶ 令和7年度総合型選抜

区分	大学入学共通テスト利用教科・科目		本学が実施 する試験等	試験の 区分	大学入学共通テスト						本学が実施する試験等			配点 合計	
	教科	科目名等			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	課題 レポート	面接		書類審査
理系科目選択型	数 外 理 情	「数I、数A」 必須 「数II、数B、数C」 必須 英、独、仏、中、韓から1 物、化、生、地学から1 情報I (3教科4科目)	講義に関する 課題レポート 面接 書類審査	共通 テスト				200	(100)	200	(100)				500
				本学が 実施する 試験等							400 (200× 2課題)	200 書類審 査含む	○	600	
				計				200	(100)	200	(100)	400	200	○	1100
文系科目選択型	国 数 外 地歴・ 公民 (※1) 情	国語 必須 「数I、数A」 必須 英、独、仏、中、韓から1 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「地総、歴総、公」 「公、倫」、「公、政・経」から1 情報I (4教科4科目)	講義に関する 課題レポート 面接 書類審査	共通 テスト	100	(100)		100		200	(100)			500	
				本学が 実施する 試験等							400 (200× 2課題)	200 書類審 査含む	○	600	
				計	100	(100)		100		200	(100)	400	200	○	1100

※1「地理総合、歴史総合、公共」を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」、「公共」)のうち、2つを選択解答すること。

高校生のみなさんへ

～自分を創る、学びの場～

創生学部では、入学後に多様な分野を一望し、自分で目標を立てた上で専門分野を選びます。新潟大学で開講される多くの講義に実際に触れてから、主軸となる専門性を選べる点が他学部にはない大きな特長です。また、様々な異なる分野の学生同士で議論を交わして、自らの問いを大きく広げていきます。与えられるのではなく、自分に合った学びを自分で創って行くので、目標をしっかりと意識して、充実した学修ができる仕組みです。

他者と協力し、時に議論を戦わせ、大きな問いを結び合わせていくための「知の広場」がここにはあります。知の拡張・深化を積み重ねる楽しさと喜びが、きっと得られることでしょう。

創生学部で、自分の未来を創るチャレンジをしてみませんか。様々な専門性を持った私たち教員が、皆さんの進み道をしっかりとサポートします。

創生学部長 **中村 隆志**

各種データ

▶ 得点率推移

試験・検査区分／入学年度		2019	2020	2021	2022	2023	
前期日程	センター試験／共通テスト (配点750)	最高点 (得点率)	616.5 (82.2%)	584.0 (77.9%)	599.7 (80.0%)	578.9 (77.2%)	589.9 (78.7%)
		最低点 (得点率)			510.9 (68.1%)	449.0 (59.9%)	406.6 (54.2%)
		平均点 (得点率)	557.4 (74.3%)	542.8 (72.4%)	547.4 (73.0%)	509.0 (67.9%)	511.9 (68.3%)
	個別学力検査等 (配点400)	最高点 (得点率)	320.0 (80.0%)	296.0 (74.0%)	326.0 (81.5%)	302.0 (75.5%)	338.0 (84.5%)
		最低点 (得点率)			220.0 (55.0%)	197.0 (49.3%)	145.0 (36.3%)
		平均点 (得点率)	283.5 (70.9%)	255.9 (64.0%)	274.4 (68.6%)	251.0 (62.8%)	223.0 (55.8%)

(新潟大学データブックより抜粋、最低点は2021年度入学者より公開)

▶ 受験倍率推移

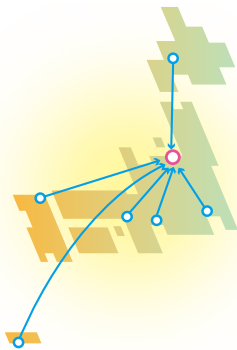
年度	区分	募集人員	志願者数	受験者数	受験倍率
2019	前期日程	45	109	98	2.2
	後期日程	10	64	30	3.0
	推薦	10	36	36	3.6
	合計	65	209	164	2.5
2020	前期日程	45	162	148	3.3
	後期日程	10	78	32	3.2
	推薦	10	33	33	3.3
	合計	65	273	213	3.3
2021	前期日程	45	101	87	1.9
	総合型選抜	20	34	33	1.7
	合計	65	135	120	1.8
2022	前期日程	45	96	87	1.9
	総合型選抜	20	26	26	1.3
	合計	65	122	113	1.7
2023	前期日程	45	73	61	1.4
	総合型選抜	20	29	28	1.4
	合計	65	102	89	1.4

▶ 都道府県別入学者数の累計

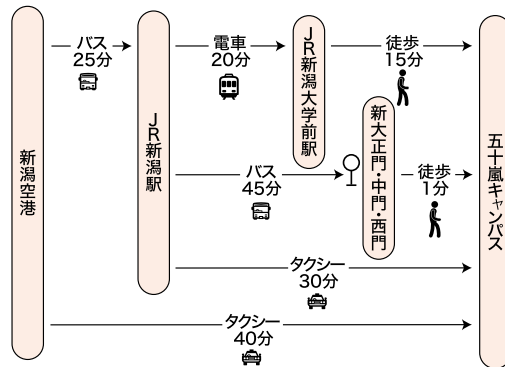




アクセス ACCESS



札幌	飛行機	75分	新潟市
名古屋	飛行機	60分	
大阪	飛行機	60分	
福岡	飛行機	100分	
沖縄	飛行機	145分	
東京	新幹線	120分	
	高速道路	4時間	



新潟大学創生学部の教員による
ミニ講義



本学教員のわくわくする
学問を紹介します!
教員の講義を公開中!



創生の道アーカイブ
卒業生が語る — 新潟大学創生学部



創生学部卒業生の活躍ぶりを
動画でご紹介いたします!



新潟大学創生学部

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL 025-262-6998(創生学部学務係)
URL <https://create.niigata-u.ac.jp>

最新の情報は
WEBサイトへ



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2024年4月発行